

藤岡市



議会だより

◆発行日 平成18年2月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 有限会社大石印刷
◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第33号



鬼石総合支所 開所式 (平成18年1月1日)

12月定例会の あちらまし

定例会は、11月29日から12月14日までの16日間の会期で開催されました。

藤岡市及び多野郡鬼石町の廃置分合に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定についてなど95議案が提出されました。

◇29日〓本会議 会期の決定。議案93件を上程、うち42議案を即決。

◇30日〓総務常任委員会。

◇5日〓合併関連議案審査特別委員会。

◇9日〓本会議 一般質問。

◇14日〓本会議 委員会付託議案51件のうち、1議案を修正可決、50議案を可決。

市長提出追加議案1件、議員提出追加議案1件を即決。

一般質問

財政運営方針について

湯井 廣志

環境衛生組合などの事業元利償還に充てた一般会計繰出金をどのように改善し、また、何をどのようにすれば改善できるのか伺いたい。

問 現在、当市の財政は危機的な状況にある中で、平成17年度予算は財政調整基金26億4000万円のうちから9億9000万円を取り崩している。今後、藤岡高校跡地買上げ9億7000万円、南部土地改良土地買上げ3億5000万円、競輪事業撤退金2億円、職員の退職金約60億円と莫大な金額の取り崩しが予想されております。この状況では、財政が破綻する道を進んでしまう。これを改善するため、例えば人件費、物件費などの一律5%カットについて、また、今まで隠れ借金と なっていた上下水道会計などの公営企業会計、広域事業、

環境衛生組合などの事業元利償還に充てた一般会計繰出金をどのように改善し、また、何をどのようにすれば改善できるのか、現状維持するのか。また、今後、税制改正による増税、医療費改正による負担増と市民は生活するのも非常に大変な時代となる。そのような時に下水道料金を上げれば市民は生活するのも益々大変になる。できれば現状維持が望ましい。料金を現状維持するために何をどのようにすれば良いとお考えか、料金を上げないための対応策を伺いたい。

答 財政調整基金からの繰り入れを最小限に止めたいと考えています。また、人件費などの経常経費の削減を図るとともに、使用料の見直しを行い、歳入を増やし、収支の均衡を図れるよう努力したいと考えています。また、一般会計の公債費削減に努めると同時に公営企業の経営改善に取り組みたいと考えています。

下水道整備推進について

問 当市の下水道事業の経営状況はかなり悪く、県より早急に料金を上げ経営改善を図るように指導を受けているが、今後、下水道料金を上げ

答 県より経営状況を改善する指導を受けています。今後は、下水道料金の値上げを視野に入れ財政当局と協議していきたいと考えております。なお、利用者になるべく水洗化率を高め、あわせて経費の削減を図るとともに、使用料の改定にならないような運営に努めていきたいと考えております。

子育て支援について

斉藤 千枝子

問 ホームページにおいて子育て情報の一元化を図る考えがあるか、伺いたい。

答 子供の年齢や家庭環境等で、情報が検索できる仕組みも必要であると考えています。関係各課と調整を図っていきたい。

問 市内企業の仕事と子育てとの、両立支援制度の活用状況。また、今後について、伺いたい。

答 事業主に対して国は、両立しやすい労働環境整備推進に各種の給付金を支給している。平成16年度「ハローワーク藤岡」の市内企業の両立支援受給件数は10件未満です。出産育児中も働き続けられる事は大きな課題であり、色々な機会に企業に働きかけ、環境づくりを進めて

いきたい。

問 配偶者特別控除一部廃止により保育料が値上がりした人がいる。軽減措置はとれないか。また、当市の保育料増収はいくらか、伺いたい。

答 収入増は試算で3200万円だが、国や県の補助金の減額で実質半分以下となり、また、軽減措置は考えておりません。



学校教育及び藤岡女子 高校跡地について

木村喜徳

問 教科書選定に先生方などのようなかわりを持っていくのか。9年間の学校教育によりどのような子供を育てたいのか。先生としてどのような人材を望むのか。また、藤岡女子高校跡地について都市計画等を踏まえた上で、跡地をどう考えるのか、県の考えと県に対して市はどのような考えをもって対応していくのか伺いたい。

答 教科書選定にあたっては、校長、教頭を中心に調査研究し地域や生徒の実態に適しているか肌で感じることができるとも教師であると考えますので、その点で教師は大きなかわりを持っていてと考えております。教育によりどんな子供を育てたいかについては、将来にわたってやりがい・生きがいを

持ち、物事に意欲的・積極的に取り組めるような人間愛に満ちた心豊かな子供を育てる教育を目指しております。また、どのような先生を望むかについては、教育に対する強い情熱、専門家としての力量、総合的な人間力を持った教師の育成が最重要課題と認識しております。次に藤岡女子高校跡地については、駅にも近く、中心市街地の貴重な空間であると考えております。県は、基本的には売却していく方針であるとのことですが、売却に当たっては市と一緒に売却先を探していきたいと考えています。従って、市としては、将来を見据えたまちづくりの中で市民の声を聞きながら対応していきたいと考えております。

平成18年度 予算編成について

問 合併は行財政改革の究極の手段との考えから、市長は任期最後となる予算編成についてどのような強い姿勢を持って反映させるのか、平成

18年度予算編成の方針を伺いたい。

答 予算編成の重点として医療、子育て、福祉の充実、生活環境、生活道路の整備等の施策を重点に新市のバランスのとれた発展を目指す予算とし、また、合併特例債を有効活用するとともに、事務事業全般にわたり、見直しや縮減、廃止に努め、効率・効果的な予算となるよう取り組むたいと考えております。



障害者対策について

茂木光雄

問 障害者自立支援法のもとの本市の取り組みについて、伺いたい。

答 障害者自立支援法が平成18年4月1日から施行され、「自立と共生の社会づくり」の理念のもと、障害者が自立して普通に暮らせるまちづくり、地域に住む人が障害の有無、老若男女を問わず自然に交わり支え合うまちづくりを目指すものです。その中に市で行う就労支援対策や障害者福祉計画がありますが、本市は同法の趣旨に沿って商工会議所、ハローワーク、市内企業の協力と理解をいただき福祉の向上に努めていきたいと考えております。なお市の障害者の法定雇用率は2・1%ですが、これを上限とせず公平な観点から採用試験を実施し、意欲と能力のある方は積極的に採用していききたい。

税の収納対策について

問 収納窓口の拡大及び滞納者対策について、伺いたい。

答 平成16年度の市税収納率は84・32%で前年度対比1%の増であります。管理職による夜間徴収や臨時休日納税相談窓口の開設等により成果が上がっているものと思われま。コンビニエンスストア収納については納税者の利便性の向上につながるため平成18年度より軽自動車税について実施すべきとの収納検討委員会の答申を受けて検討した結果、平成18年度の導入については、見送りたいと考えております。市税の滞納者に対する差し押え及び参加差し押えは平成16年度156件、4億3402万9482円、平成17年度11月末で65件、1億3844万4905円であり、平成18年度において県の助言をもとに公売を実施したいと考えております。

介護保険について

清水保三

問 介護保険法改正後の市内の動向について、ある施設入所者の実態では、入所者から「施設入所費が高くなり、どうすれば良いか考えてしまふ。」という相談が相次いで来ています。ある人の利用料の9月分請求書を見せてもらったところ、食事標準負担額2万3400円、利用者負担額3万4020円、日常生活費4500円、合計で6万1920円です。10月分の請求書を見ると、室料負担額は1万5500円、食費負担額は何と4万9600円になっています。日常生活費は9月分と同じで4650円、10月分は合計で10万5090円になり、その差額は何と4万3170円の負担増になっています。そこで市民税非課税世帯に食費1日当たり200円程

度の補助ができないか、伺いたい。

答 新たな負担を伴う対応は難しいが、現場の声を国や県に伝えて行きたいと思っております。



諸政策の現状と対応について

橋本新一

問 森林療法では、森林の有する多面的機能に効果があると言われていて。市街地からも近い、庚申山総合運動公園周辺の里山は、ハイキングコースなど市民の健康づくりや憩いの場として活用されているが、さらに森林療法も含めた多目的な里山として保全整備する考えはないか、伺いたい。

答 庚申山丘陵の自然環境を守るために、庚申山総合運動公園として46・2haを指定し、それと重複する形で、庚申山風致地区として53・45haを指定しています。

公園の整備として遊歩道を整備し、公園内の自然林の中で遊性を確保して、ウォーキング、森林浴、バードウォッチングなど、市民に親しまれる場所とし

て整備を進めております。

問 鮎川流域の景観保全と合わせて地域の活性化を図るためには、林業振興や観光産業を含めた様々な事業が考えられるが、その核となるべく拠点として「川の駅」の設置を関係機関と進める考えはないか、伺いたい。

答 道の駅と同様の休憩機能や情報発信機能、地域の連携機能を合わせ持つ施設を整備する計画はありませんが、貴重な意見として承りたいと思います。

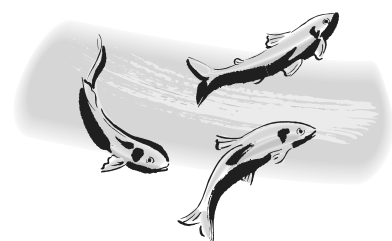
市有地の取得とその後の管理運営

こいつて

問 藤岡高校跡地の取得計画について、平成15年度の議員説明会で示された取得目的の利用計画と、今回、藤岡高校跡地利用検討委員会からの提言とは大変大きな差異があるが、今後どのような対応をとるのか、伺いたい。

答 平成15年度の議員説明会において、藤岡高校跡地を住宅団地等公共施設として整備をするという一つの案を提示した経緯がありました。このことについては、跡地利用検討委員会においても十分説明をし、議論をしていただきました。

結果として、今回、提出された提言書には、住宅団地ということはどうもなされておらず、市としては、提言を踏まえ、今後、検討を重ね、跡地利用計画を作成していきたいと考えております。



指定災害避難所

について

冬 木 一 俊

後、施設の存続が難しいので2カ所に代わる避難所の検討を考えております。

すべきと思いますが、見解を伺いたい。

問 対象地区について行政区ごとに避難所を指定しているが、現実問題として近くに避難施設があっても行政区が違いため、いざ災害が起きた場合には心配をしている市民もいるが、見解を伺いたい。

答 財政の許す限り計画的に取り組んでいきたいと考えております。

路線バスについて

問 当市では現在、小学校・中学校・高校をはじめ、各地区公民館や公会堂など32カ所を避難所として指定しているが、大災害が発生した時、収容人数の対応は大丈夫なのか、伺いたい。

答 現在は人員把握等をしなければならぬため行政区ごとに指定をしているが、今後は行政区にとらわれない避難所を検討する必要があると考えております。

問 現在、当市では3路線の代替バスを運行しているが、市民ニーズにこたえられるように、利用者や市民に対して住民意向調査を実施して路線変更等を検討する考えはあるのか、伺いたい。

答 全員が避難した場合には19カ所が収容不能となりますので、今後は対応可能な施設を再確認して、収容人員を確保できる避難所の指定を考えたいと思います。

問 各避難施設の耐震診断の状況を、伺いたい。

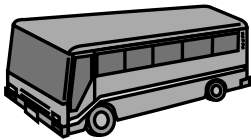
答 合併を契機に協議会を設立するとともに、市民を対象に意向調査を実施して、藤岡市全体を見据えたバス路線にしていきたいと考えております。

問 市内には4校の県立高校があるが、今後避難施設として問題はないのか、伺いたい。

答 実施しておりません。

答 藤岡工業高校・藤岡北高校は継続可能だが、藤岡高校・藤岡女子高校については統合

問 市民の生命を守る立場の行政は、万一の時には市民が安心して避難できる環境づくりは必要不可欠であり、計画的に耐震診断や改修を実施



市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。傍聴希望者は、市民相談室へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局
(☎ 22)1211内線2361)へ

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録(3月上旬公開予定)をご覧ください。

都市計画について

申田 武

問 藤岡市田園居住区整備事業について、①基本的な考え方②南町地区まちづくり研究会の地区計画案の進捗状況と今後の見通しについて③地区計画を申し出る希望者の対応策について、伺いたい。

答 基本的な考え方ですが、市街地調整区域についても秩序ある土地利用計画のもとに、自然環境と調和した居住環境の整備を規制誘導する必要があることから、構想を策定いたしました。次に、研究会の地区計画案の進捗状況と今後の見通しですが、市街地調整区域内における地区計画制度は厳しい制約もあり、県との調整に時間を要し、都市計画に向けた具体的な作業については事前協議資料の作成に着手した段階であります。この地区計画案が都市計画決

定に至るまでの今後の見通しですが、おおむね1年程度の期間が必要だというふうに思われます。

また、地区計画を申し出る希望者への対応策ですが、申し出の手續きは藤岡市地区計画等の案の作成手続きに関する条例に定められております。地区計画案は都市計画法や藤岡市都市計画マスタープランとの整合性を検討して、庁内検討委員会に諮り、藤岡市の都市計画決定として決定できるものは都市計画決定を行っていくこととなります。

市内循環バス

「レトロロン」について

問 循環バスの経路について、神流地区、小野地区、美土里地区の藤岡市の北側に向かった路線について、対応が少し欠けているような感じを受けます。また、地域の方からも重要施設に向かう足として、この地域にも路線を通してほしいということであるが、今後、バス路線変更の検

討をするか、伺いたい。

答 今後、多くの市民が利用しやすい路線バスにしていかなければならないと考えております。

今後も住民意向調査などを実施し、合併後の市全体を見据えたバス路線を検討していきたいと考えております。

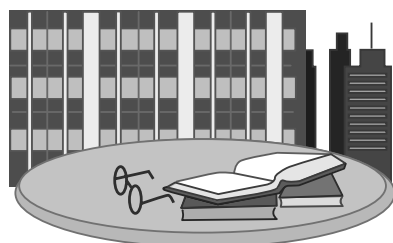
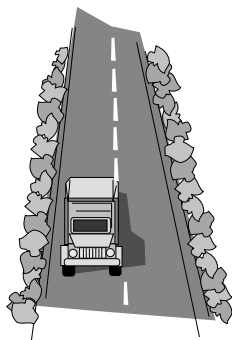
合併後の街づくりについて

吉田 達哉

問 3年半の行政実績を踏まえて、今後の街づくりの基本方針と市政運営について、市長に伺いたい。

答 暮らしやすい街づくりが基本方針です。まず、教育環境の充実です。来年度中に、市内全ての小中学校の普通教室に扇風機を設置します。また、合併特例債を活用し、学校の耐震化に取り組みます。福祉向上では、子育て支援センターの開設や児童生徒の医療費の無料化の推進を図りましたが、今後も福祉の充実に努めます。次に市民生活に密着した道路

や側溝、下水道の整備を着実に進めます。また、開発行為の権限委譲を受け、土地利用促進に努めます。次に、高速交通の拠点である地の利を活かし、国土交通省の構想のもと、高速バス乗り継ぎステーションの実現を目指します。また、国の公文書の中間書庫建設の誘致を行います。私は、現実的な施策と高いハードルを持って市政運営を心掛けて行きます。



経済建設常任委員会報告

行政視察

平成17年10月17日から10月19日の日程で経済建設常任委員会として、愛媛県松山市の市民農園、西条市の産業情報支援センター、大洲市の大洲城再建によるまちづくりについて、8名の委員による行政視察を行いました。

〈視察目的〉

- (1) 松山市市民農園については、空いている農地を有効利用し、市民に自然と触れ合う体感と休耕地を減らす取り組み状況について。
- (2) 西条市産業情報支援センターについては、地方の中小企業の自立のための手段を公設の支援センターがどのように取り組み、成果をあげているのか。
- (3) 大洲城再建によるまちづくりについては、市の中心部の城跡に昔のままの天守閣を復

元することで観光客を誘致し、市の活性化を図っていく取り組み。

〈視察結果〉

(1) 市民の要望により、松山市農業指導センターの中に市民農園として約3000㎡に93区画（1区画20㎡）を設けて、約1000人の市民に対して貸し出しを行っている。区画が小さく仕切られ砂地が多いため多様な植物を栽培して楽しむという訳にはいかない様子であった。市からの運営費は農業指導センターを含めて、全体で1億2500万円と多額であり、50万都市だからできるものと推測され、本市がこ



うした事業を取り組みとしたら、20区画が適当であろうと思われる。

(2) 西条市産業情報支援センターは、情報を手段とした新事業創出、中小企業等の新分野進出、研究開発等の企業活動を支援する事を目的に外部民間人をトップに招き、市単独運営の株式会社組織として設立されており、地域中小企業の自立と活性化が最大のテーマである。平成16年度事業実績として日本政策投資銀行と情報交換等の連携を図り、長期設備投資を計画する地域企業2社に同銀行を紹介し融資を得た。技術相談室には、企業退職者を技術相談員に招きコーディネート活動を実施している。

(3) 大洲市は、明治21年に老朽化のため取り壊された大洲城天守閣を史実に基づいて復元し、市の中心部にある城を中心に明治時代や大正時代の頃の風情を残したレトロなまちづくりを行う計画で、平成13年6月より事業を着手し平成

16年7月に完成をみた。総工事費13億円のうち5億円を市民及び市出身の実業家の寄付で賄うことができ、この事業が多く市民の理解を得られたことに意義があると思われる。

今回の視察において行政、議会、市民が一体となって努力すれば素晴らしいまちづくりができる事を実感した。今回、愛媛県下3市の特色ある事業の取り組みを研修して地域経済の活性化、市民ニーズの実現、まちづくりの方向性を実際に学ぶことができ、大変参考になりました。この学習の結果を経済建設常任委員会として市政運営に役立てていきたいと思えます。

委員長	茂木光雄
副委員長	清水保三
委員	反町清
〃	神田省明
〃	青柳正敏
〃	塩原吉三
〃	隅田川徳一
〃	吉田達哉

議案等審議結果(第6回臨時会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告第13号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	報 告
第 98 号	監査委員の選任について	同 意(多 数)
第 99 号	多野藤岡医療事務市町村組合の規約変更に関する協議について	可 決(多 数)

議案等審議結果(第7回定例会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告14号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	報 告
報告15号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	報 告
報告16号	専決処分の承認を求めることについて (和解及び損害賠償の額を定めることについて)	承 認(多 数)
諮問1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし(全員一致)
諮問2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし(全員一致)
第 100 号	藤岡市議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 101 号	藤岡市長・助役及び収入役の諸給与条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 102 号	藤岡市教育委員会教育長の諸給与支給条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 103 号	藤岡市職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 104 号	藤岡市安全安心まちづくり条例の制定について	修正可決(多 数)
第 105 号	藤岡市税条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 106 号	藤岡市固定資産税及び都市計画税の納期にかかる特別措置に関する条例の廃止について	可 決(全員一致)
第 107 号	藤岡市労働環境整備資金融資促進条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 108 号	藤岡市ボランティアネットワークセンター設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 109 号	竹沼貯水池貸ポート施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 110 号	藤岡市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 111 号	藤岡市集落環境施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 112 号	藤岡市同和対策施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 113 号	藤岡市自然の家の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第 114 号	藤岡市桜山温泉センターの設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 115 号	藤岡市三波川財産区管理会条例の制定について	可 決(全員一致)
第 116 号	旧鬼石町若者定住対策促進条例の規定に基づく奨励措置及び奨励金等の返還の経過措置に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 117 号	藤岡市三波川財産区基金条例の制定について	可 決(全員一致)
第 118 号	藤岡市若者定住対策促進基金条例の制定について	可 決(全員一致)
第 119 号	藤岡市公共施設整備基金条例の制定について	可 決(全員一致)
第 120 号	藤岡市国民健康保険基金条例の制定について	可 決(全員一致)
第 121 号	藤岡市介護老人保健施設基金条例の制定について	可 決(全員一致)
第 122 号	藤岡市立鬼石小学校新井文庫基金設置、管理及び処分に関する条例の制定について	可 決(全員一致)

番 号	件 名	結 果
第 123 号	藤岡市立鬼石北小学校篤志文庫基金設置、管理及び処分に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 124 号	藤岡市立鬼石中学校篤志文庫基金設置、管理及び処分に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 125 号	藤岡市鬼石公民館青木文庫基金設置、管理及び処分に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 126 号	藤岡市証明手数料条例の制定について	可 決(全員一致)
第 127 号	藤岡市租税特別措置法関係手数料条例の制定について	可 決(全員一致)
第 128 号	藤岡市戸籍法関係手数料条例の制定について	可 決(全員一致)
第 129 号	藤岡市道路運送車両法関係手数料条例の制定について	可 決(全員一致)
第 130 号	藤岡市狂犬病予防法関係手数料条例の制定について	可 決(全員一致)
第 131 号	藤岡市鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律関係手数料条例の制定について	可 決(全員一致)
第 132 号	藤岡市地区コミュニティセンター等の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 133 号	藤岡市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 134 号	吏員の退隠料等の改定に関する特別措置条例の制定について	可 決(全員一致)
第 135 号	藤岡市鬼石総合支所設置条例の制定について	可 決(全員一致)
第 136 号	藤岡市移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 137 号	藤岡市移動通信用鉄塔施設整備事業分担金及び使用料徴収条例の制定について	可 決(全員一致)
第 138 号	藤岡市、鬼石町の廃置分合に伴う藤岡市税条例の適用の経過措置に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 139 号	藤岡市過疎対策のための市税（固定資産税）の課税の特例に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 140 号	藤岡市病院事業の設置等に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 141 号	藤岡市国民健康保険鬼石病院使用料手数料条例の制定について	可 決(全員一致)
第 142 号	藤岡市鬼石保健福祉センターの設置及び管理運営に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 143 号	藤岡市デイサービスセンター鬼石の設置及び管理運営に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 144 号	藤岡市介護老人保健施設鬼石の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 145 号	藤岡市桜山公園の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 146 号	藤岡市自然活用管理センターの設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 147 号	藤岡市体験学習館の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 148 号	藤岡市山村活性化支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 149 号	藤岡市集落農事集会所の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 150 号	藤岡市譲原農産物処理加工施設天神茶屋の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 151 号	藤岡市林業災害対策特別措置条例の制定について	可 決(全員一致)
第 152 号	藤岡市鬼石用水管理条例の制定について	可 決(全員一致)
第 153 号	藤岡市特定公共賃貸住宅条例の制定について	可 決(全員一致)
第 154 号	藤岡市市有住宅家賃使用料条例の制定について	可 決(全員一致)
第 155 号	藤岡市公園の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 156 号	藤岡市鬼石多目的ホールの設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 157 号	藤岡市国指定史跡讓原石器時代住居跡覆屋の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 158 号	藤岡市立学校体育施設の開放に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 159 号	藤岡市手数料条例等を廃止する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 160 号	財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の全部改正について	可 決(全員一致)
第 161 号	「財政事情」の作成並びに公表に関する条例の全部改正について	可 決(全員一致)
第 162 号	藤岡市奨学資金貸与に関する条例の全部改正について	可 決(全員一致)
第 163 号	藤岡市及び多野郡鬼石町の廃置分合に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第 164 号	藤岡市の市の木、市の花の一部改正について	可 決(全員一致)
第 165 号	ららん藤岡の指定管理者の指定について	可 決(多 数)
第 166 号	藤岡市ゆったり館の指定管理者の指定について	可 決(多 数)

番 号	件 名	結 果
第 167 号	藤岡市福祉作業所及び藤岡市中心身障害者デイサービスセンターの指定管理者の指定について	可 決(全員一致)
第 168 号	藤岡市高齢者自立センターの指定管理者の指定について	可 決(多 数)
第 169 号	藤岡中央児童館の指定管理者の指定について	可 決(多 数)
第 170 号	藤岡市民プールの指定管理者の指定について	可 決(全員一致)
第 171 号	藤岡市等公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について	可 決(全員一致)
第 172 号	藤岡市と高崎市との間における教育に係る事務の委託に関する協議について	可 決(全員一致)
第 173 号	区域外の道路認定の承諾について	可 決(全員一致)
第 174 号	区域外の公の施設の設置について	可 決(全員一致)
第 175 号	鬼石町の廃置分合による多野藤岡広域市町村圏振興整備組合からの脱退に伴う事務承継に関する協議について	可 決(全員一致)
第 176 号	新町の廃置分合による多野藤岡広域市町村圏振興整備組合からの脱退に伴う事務承継に関する協議について	可 決(全員一致)
第 177 号	新町の廃置分合による多野藤岡医療事務市町村組合からの脱退に伴う事務承継に関する協議について	可 決(多 数)
第 178 号	鬼石町の廃置分合による藤岡、新町、吉井、鬼石環境衛生事務組合からの脱退に伴う事務承継に関する協議について	可 決(全員一致)
第 179 号	新町の廃置分合による藤岡、新町、吉井、鬼石環境衛生事務組合からの脱退に伴う事務承継に関する協議について	可 決(全員一致)
第 180 号	鬼石町の廃置分合による多野郡町村会館管理組合からの脱退に伴う事務承継に関する協議について	可 決(全員一致)
第 181 号	新町の廃置分合による多野郡町村会館管理組合からの脱退に伴う事務承継に関する協議について	可 決(全員一致)
第 182 号	群馬県六市自転車競走組合の解散に関する協議について	可 決(全員一致)
第 183 号	群馬県六市自転車競走組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	可 決(全員一致)
第 184 号	群馬県六市自転車競走組合の規約変更に関する協議について	可 決(全員一致)
第 185 号	群馬県市町村会館管理組合の規約変更に関する協議について	可 決(全員一致)
第 186 号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	可 決(全員一致)
第 187 号	市道路線の認定について	可 決(全員一致)
第 188 号	平成17年度藤岡市一般会計補正予算 (第3号)	可 決(多 数)
第 189 号	平成17年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算 (第2号)	可 決(全員一致)
第 190 号	平成17年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算 (第2号)	可 決(多 数)
第 191 号	平成17年度藤岡市学校給食センター特別会計補正予算 (第1号)	可 決(多 数)
第 192 号	平成17年度藤岡市水道事業会計補正予算 (第1号)	可 決(全員一致)
第 193 号	藤岡市議会の議員の報酬の特例に関する条例の制定について	可 決(多 数)
議員提出議案		
第 3 号	藤岡市議会委員会条例の一部改正について	可 決(全員一致)

**編
集
後
記**

新しい年を迎え、皆様にとつてより良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。1月1日に、藤岡市と鬼石町が合併し、新生藤岡市となりました。本年は、新生藤岡市の誕生を祝うと同時に新たな未来に向けてのスタートを切る年でありま

す。
12月定例会においては、合併に関連する条例議案をはじめ、各議案の議決が行われました。また、9名の議員から広範囲にわたり一般質問を行い、熱い議論が交わされました。

編集委員会では、議会活動がよりわかりやすく身近に感じられるよう市議会だよりの一層の充実に努めてまいりたいと思

委員 長	吉 田 達 哉
副委員 長	湯 井 廣 志
委員	佐 藤 田 廣 志
委員	茂 木 一 光
委員	冬 木 淳 武
委員	坂 本 忠 三
委員	清 水 保 三